

**漂流中、船長が釣り客の写真を撮っていて接近する船に気付かずに衝突**

概要：A 船は、船長 A(39 歳)が 1 人で乗り組み、釣り客 9 人を乗せて釣り場を移動中、B 船は、船長 B(38 歳)が 1 人で乗り組み、釣り客 5 人を乗せ、漂流して釣り中、A 船の船首部が B 船の左舷中央部に衝突した。

A 船は船首部に擦過傷等を生じ、B 船は左舷外板と操舵室が大破して転覆した。  
B 船の釣り客 3 人が負傷した。(肋骨骨折、頸椎捻挫等)

**A 船 (遊漁船)**

総トン数：17 トン  
L r × B × D：19.15m × 3.97m × 1.36m

**B 船 (遊漁船)**

総トン数：3.3 トン  
L r × B × D：9.60m × 2.66m × 0.82m

11:55 ごろ

A 船は、釣り場を移動するために発進し、約 16.5 ノットの速力で南東進した

12:10 ごろ

B 船は、機関を停止して船首を北東方に向けて漂流し、釣りを行っていた

船長 A は、発進したとき、左舷側の 2 隻のほかには、前方に接近する船がないと思ひ、下を向いて計器類を見ながらぼんやりとした状態で操船していた

船長 B は、大きな魚を釣った釣り客の写真を撮っていて、左舷側から接近する A 船に気付かなかった

船長 A は、周囲の多数の釣り船との間隔調整や釣り客への気遣いから疲れを感じていた



12:14 ごろ

船長 A は、前方を見たものの、船首方で漂流中の B 船に気付かなかった

船長 B は、釣り客の大声を聞いて左舷正横至近に A 船を認めた

12:15 ごろ

船長 A は、衝撃を感じて機関を中立とした



衝突したのち、A 船は B 船を乗り切って停止した

衝突して間もなく転覆し、乗船者 6 人が海に投げ出された

天気晴れ、風力 2、南東の風、視界良好 波高約 1m、北西のうねり、上げ潮の中央期

**再発防止に向けて (事故防止策)**

- ・波やうねりがある場合には、波間に隠れた小型船舶を見落とさないよう厳重な見張りを行うこと。
- ・漂流中であっても周囲の見張りを行い、接近する他船を見落とさないようにすること。

本事例の調査報告書は当委員会ホームページで公表しております。(平成 24 (2012) 年 7 月 27 日公表)  
[http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2012/MA2012-7-37\\_2011kb0043.pdf](http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2012/MA2012-7-37_2011kb0043.pdf)